



朝日放送株式会社

2017年度第2四半期 決算説明資料
(平成30年3月期)

2017年11月17日

ABC

証券コード: 9405

業績の概要について

2017年度上期 業績の概要

連結決算の概要

【要因】

◇主力の放送事業**収入減**が響く

◆減収減益

- ・ネットタイム**収入減**: 全国ネット番組数減と
単発番組の単価が低下
- ・催物**収入減**: 前年あった周年記念的大型催物なし

視聴率の概要

- ◆全日、ゴールデン : 3位
- ◆プライム : 2位
- ◆プライム2 : 1位

2017年度下期・通期の業績見通しと課題の進捗

業績の見通し

通期で“減収減益見通し”は変わらず

《放送事業》

- ・タイム収入は前年比で全国ネット番組減のため下期も減収と予想
- ・スポット収入は下期に巻き返しを図る

課題①

ゴールデン帯・日曜の強化

- ①G帯体制を立て直し
- ②日曜朝に大型ニュース情報番組

課題②

コンテンツ総合力を強化

「AbemaTV」とドラマ共作

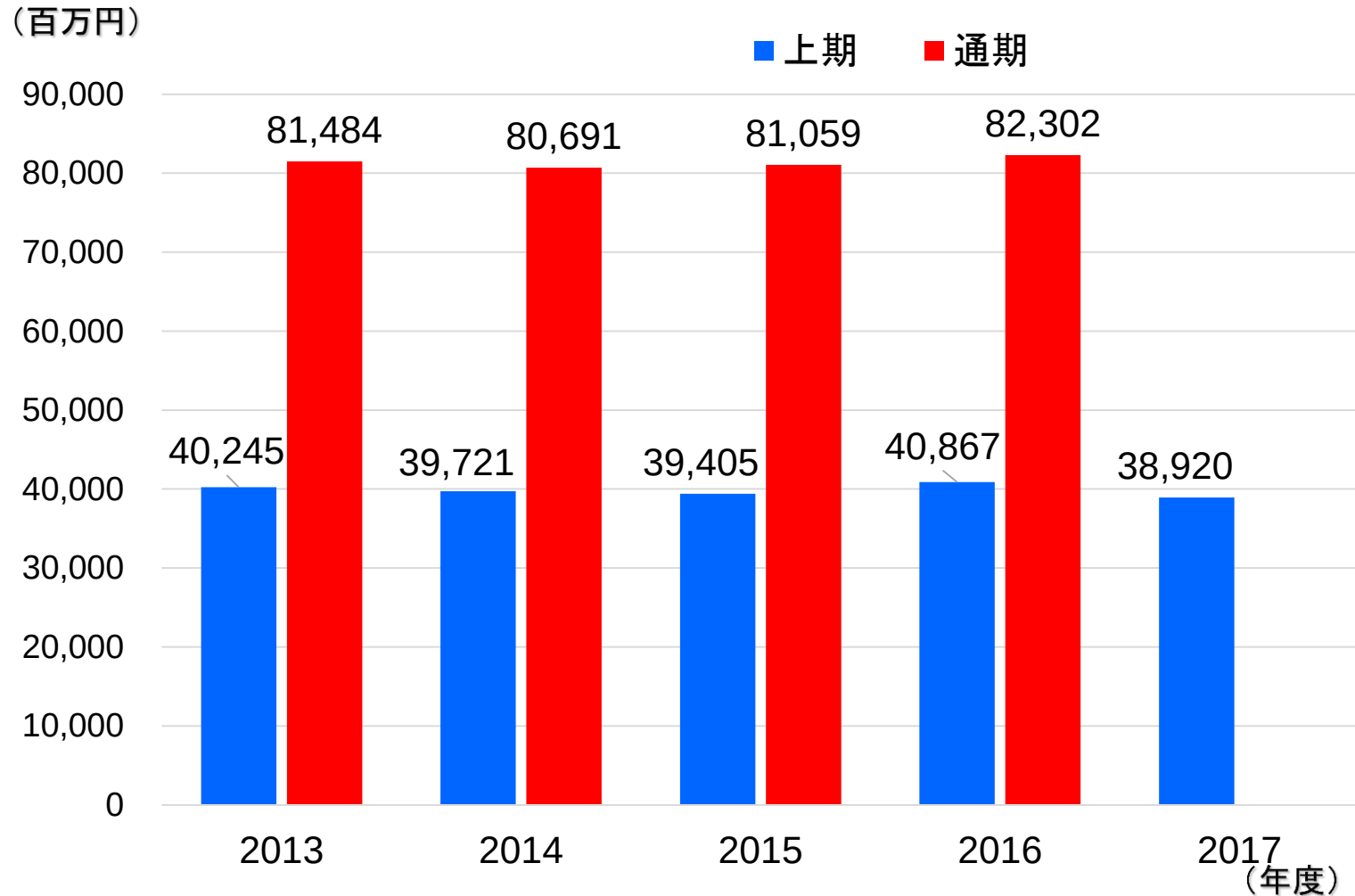
業績の詳細について

連結業績

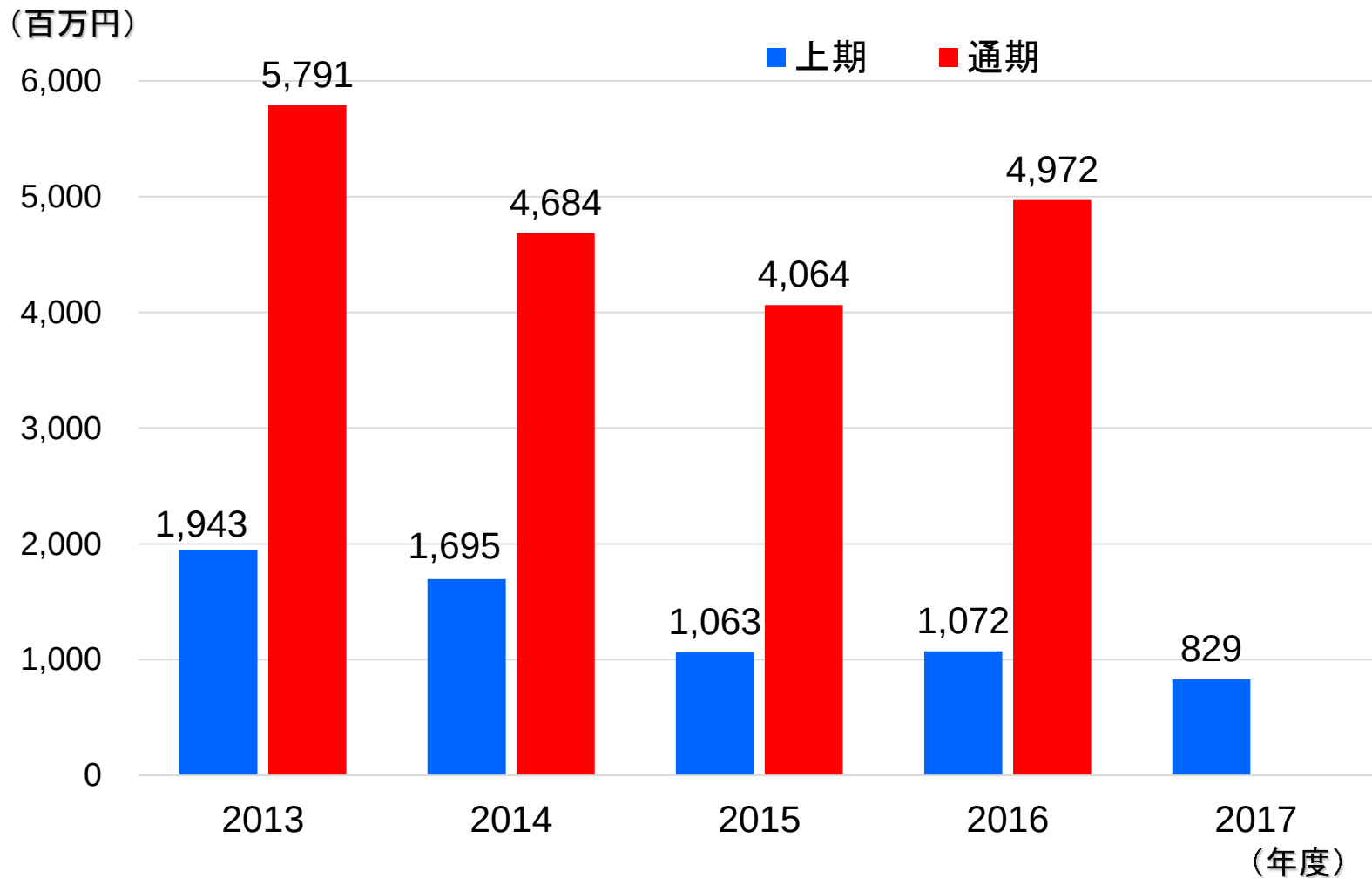
(単位:百万円)

	17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売上高	38,920	40,867	△1,947	△4.8%
営業利益	829	1,072	△243	△22.7%
経常利益	1,021	1,260	△239	△19.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	614	883	△269	△30.5%

過去5年の売上高(連結)



過去5年の営業利益(連結)

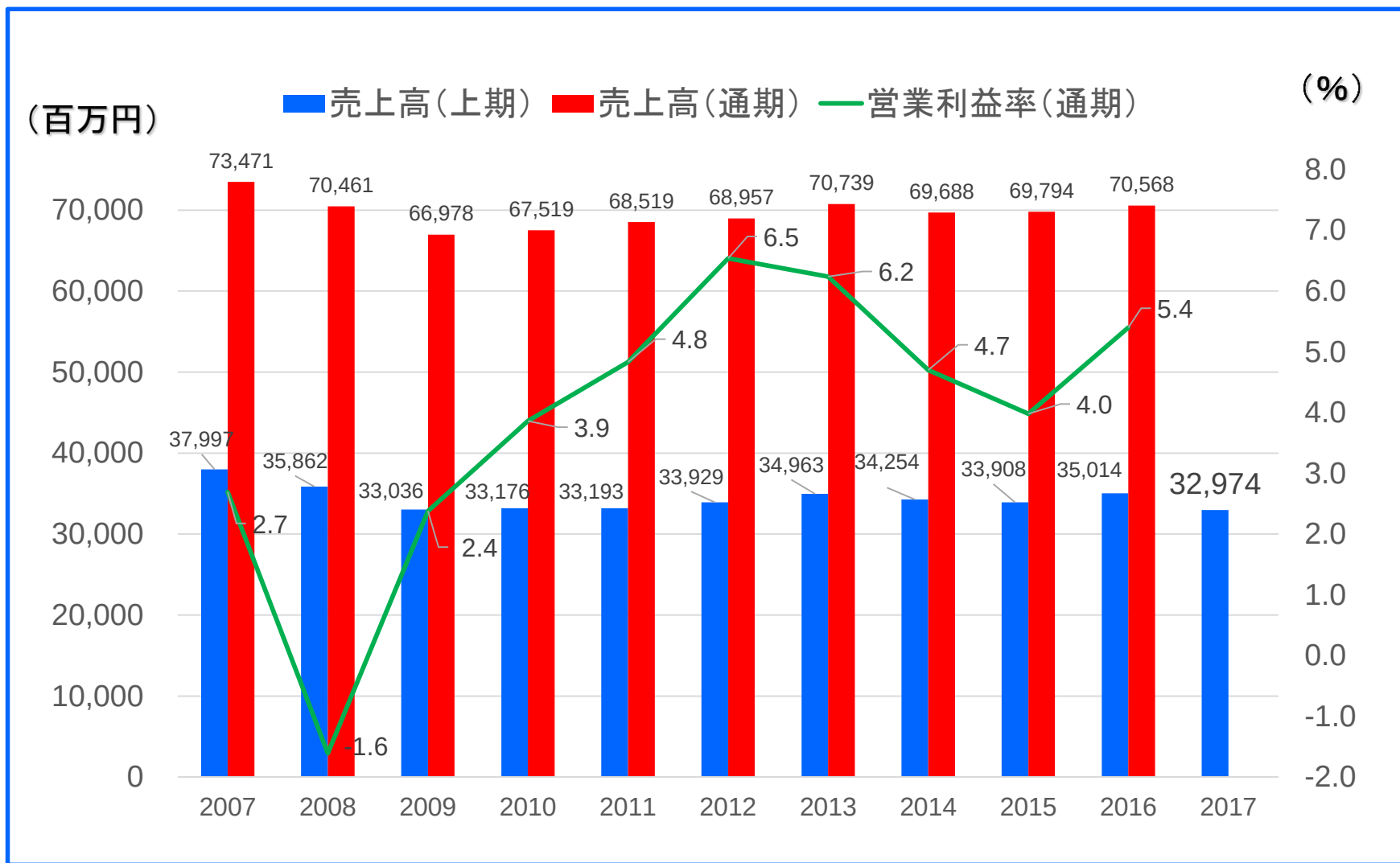


セグメント別業績

(単位:百万円)

放送事業			17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売	上	高	32,974	35,014	△2,040	△5.8%
営	業	利 益	412	635	△223	△35.1%
ハウジング事業			17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売	上	高	5,483	5,418	65	1.2%
営	業	利 益	397	461	△63	△13.9%
ゴルフ事業			17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売	上	高	461	435	26	6.1%
営	業	利 益	18	△24	43	-

変動が大きい“放送事業”の営業利益率



朝日放送(個別)業績

(単位:百万円)

	17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売 上 高	30,138	32,450	△2,312	△7.1%
営 業 利 益	390	893	△502	△56.2%
経 常 利 益	679	1,202	△522	△43.5%
四半期純利益	483	974	△491	△50.5%

テレビ放送事業収入(地上波)

<収入>

(単位:百万円)

	17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	27,455	28,592	△1,136	△4.0%

内訳

タイム	ネットワーク収入	6,506	7,362	△855	△11.6%
	ローカル収入	3,037	3,019	18	0.6%
スポット収入		16,755	16,959	△204	△1.2%
番組販売収入		1,155	1,251	△95	△7.6%

テレビ放送事業 上期業績の背景

タイム収入

ネットワーク

減収

- ・「土曜ワイド劇場」が終了
- ・「必殺仕事人」の放送が上期に無かった
- ・1月スタートした日曜夜8時の番組で、前番組に比べ単価が低下
- ・単発編成番組の単価が低下

ローカル

ほぼ横ばい

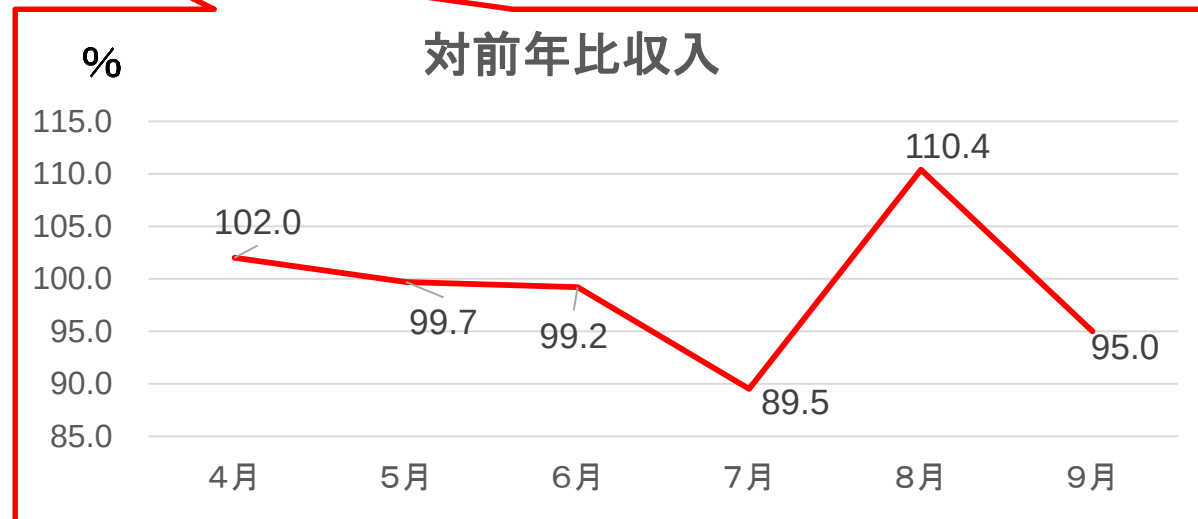
- ・平日、土曜朝の情報番組は好調
- ・広告主の固定費削減傾向が強まり、ミニ枠や深夜バラエティが減収

テレビスポット収入(地上波)

(単位: 百万円)

	17年度	16年度	前期比	増減率
第1四半期	8,722	8,692	29	0.3%
第2四半期	8,033	8,267	△233	△2.8%
上期	16,755	16,959	△204	△1.2%

4月	3,021
5月	2,856
6月	2,844
7月	2,762
8月	2,512
9月	2,757



テレビスポット収入(地上波:業種別20位まで)

業種	2017年度 上期		2016年度 上期	
	前年同期比	構成率	前年同期比	構成率
食品	106.0%	11.1%	99.2%	10.4%
情報・通信	91.8%	10.2%	141.5%	11.0%
自動車	108.8%	8.0%	93.4%	7.3%
薬品・医療	97.3%	7.6%	120.3%	7.8%
飲料・アルコール飲料	88.8%	7.6%	88.5%	8.5%
化粧品・トイレットリー	93.7%	7.5%	95.9%	7.8%
家電・コンピュータ	108.0%	6.0%	94.4%	5.4%
金融	88.4%	5.9%	97.1%	6.5%
交通・観光・レジャー	121.2%	5.5%	93.7%	4.5%
趣味(映画・ゲーム・音楽など)	91.4%	5.4%	104.5%	5.8%
住宅・不動産・建設	138.9%	4.3%	105.7%	3.0%
外食・サービス	110.0%	4.1%	81.7%	3.7%
ファッション(衣料・貴金属など)	100.2%	2.7%	93.5%	2.7%
エネルギー・機械・素材	74.7%	2.1%	1029.3%	2.8%
通信販売	122.9%	2.1%	109.0%	1.7%
出版	110.7%	2.0%	79.4%	1.8%
教育・宗教・冠婚葬祭	100.7%	1.8%	102.2%	1.7%
各種団体(法律事務所など)	93.5%	1.7%	84.1%	1.8%
家庭用品	117.7%	1.4%	74.9%	1.2%
流通	46.9%	1.4%	88.2%	2.4%
官庁・政治団体	41.0%	0.3%	87.9%	0.7%
その他	147.3%	1.3%	83.4%	1.5%
合計		100.0%		100.0%

放送事業収入(地上波以外)

(単位:百万円)

		17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
朝日放送 (個別)	ラジオ放送収入	1,336	1,447	△110	△7.6%
	催物収入	671	1,537	△865	△56.3%
	コンテンツ関連収入	422	629	△206	△32.9%

【グループ会社(注:連結グループ内での内部取引を含む)】

ABC フロンティアHD グループ	コンテンツ関連収入	679	※ 215	-	-
スカイA	C S 放送収入	1,605	1,737	△131	△7.6%
AMC	通販事業収入	584	570	13	2.4%

※フロンティアHDは16年7月事業開始のため、16年度は7-9月の数字です

ハウジング事業(ABC開発) 増収減益

1:住宅展示場

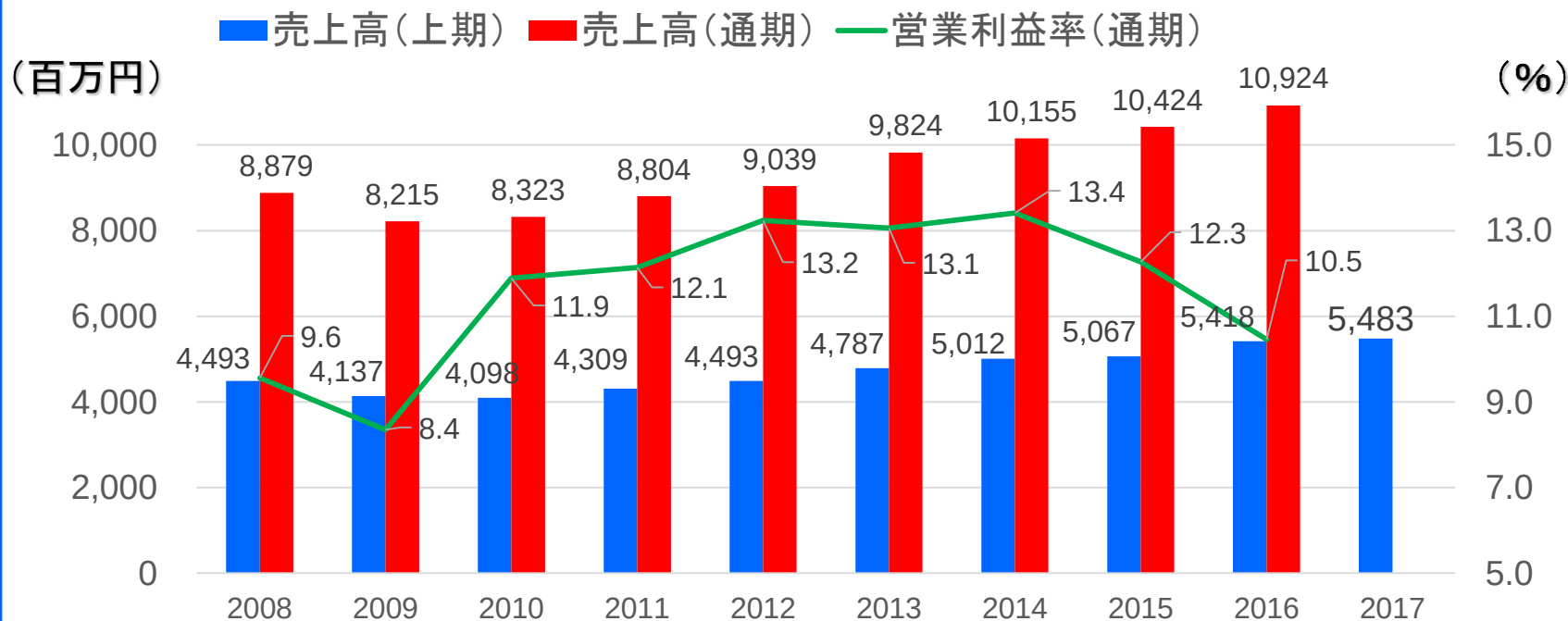
近畿に16会場、関東に9会場を展開し、約400棟のモデルホームを紹介。展示場に出展する住宅メーカーから“出展料収入”を得ることで利益を出します。

当上期は、関西圏会場での撤退企業分を、4月にオープンした新・川崎受託展示場がカバーし、増収。

2:ハウジング・デザイン・センター(HDC)

「HDC大阪」と「HDC神戸」「HDC名古屋」を展開。
“住まいのデパート”として、住宅・インテリアメーカー、リフォーム会社などが出展。“出展料収入”を得ます。

当上期は、HDC大阪は好調も、HDC名古屋は横ばい、HDC神戸は一部出展企業の売上減に伴い減収で、トータルで減収。



連結・個別費用

(単位:百万円)

連結	17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売上原価	26,484	28,235	△1,751	△6.2%
販管費	11,606	11,559	47	0.4%
営業費用合計	38,090	39,795	△1,704	△4.3%

個別	17年度 上期	16年度 上期	前期比	増減率
売上原価	19,369	21,141	△1,771	△8.4%
販管費	10,378	10,416	△38	△0.4%
営業費用合計	29,747	31,557	△1,810	△5.7%
テレビ番組費	9,173	9,456	△283	△3.0%

連結業績見通し

(単位:百万円)

	17年度	16年度 (実績)	前期比	増減率
売上高	80,500	82,302	△1,802	△2.2%
営業利益	4,100	4,972	△872	△17.5%
経常利益	4,300	5,261	△961	△18.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,600	3,416	△816	△23.9%

セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

放送事業			17年度	16年度(実績)	前期比	増減率
売	上	高	68,110	70,568	△2,458	△3.5%
営	業	利 益	2,980	3,809	△829	△21.8%
ハウジング事業			17年度	16年度(実績)	前期比	増減率
売	上	高	11,500	10,924	575	5.3%
営	業	利 益	1,100	1,143	△43	△3.8%
ゴルフ事業			17年度	16年度(実績)	前期比	増減率
売	上	高	890	809	80	10.0%
営	業	利 益	20	19	0	4.7%

朝日放送(個別)業績見通し

(単位:百万円)

	17年度	16年度 (実績)	前期比	増減率
売上高	62,700	65,130	△2,430	△3.7%
営業利益	2,900	3,485	△585	△16.8%
経常利益	3,200	3,891	△691	△17.8%
当期純利益	2,200	2,867	△667	△23.3%

テレビ放送事業収入(地上波)見通し

<収入>

(単位:百万円)

	17年度	16年度 (実績)	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	57,200	58,264	△1,064	△1.8%

内訳

タイム	ネットワーク収入	13,600	14,684	△1,084	△7.4%
	ローカル収入	5,800	5,592	207	3.7%
スポット収入		35,700	35,752	△52	△0.1%
番組販売収入		2,100	2,235	△135	△6.1%

放送事業収入(地上波以外)見通し

<収入>

(単位:百万円)

		17年度	16年度 (実績)	前期比	増減率
A フ ロ ン テ ィ ア ホ ー ル デ ィ ン グ ス	B コ ン テ ン ツ C 関 連 収 入	1,330	914 (注)	— — —	— — —

(注:期間は2016年7月～2017年3月)

ス カ イ A	C S 放 送 収 入	3,057	3,299	△242	△7.3%
A M C	通 販 事 業 収 入	1,189	1,160	29	2.5%

(連結グループ内での内部取引を含む)

連結・個別費用見込み

(単位:百万円)

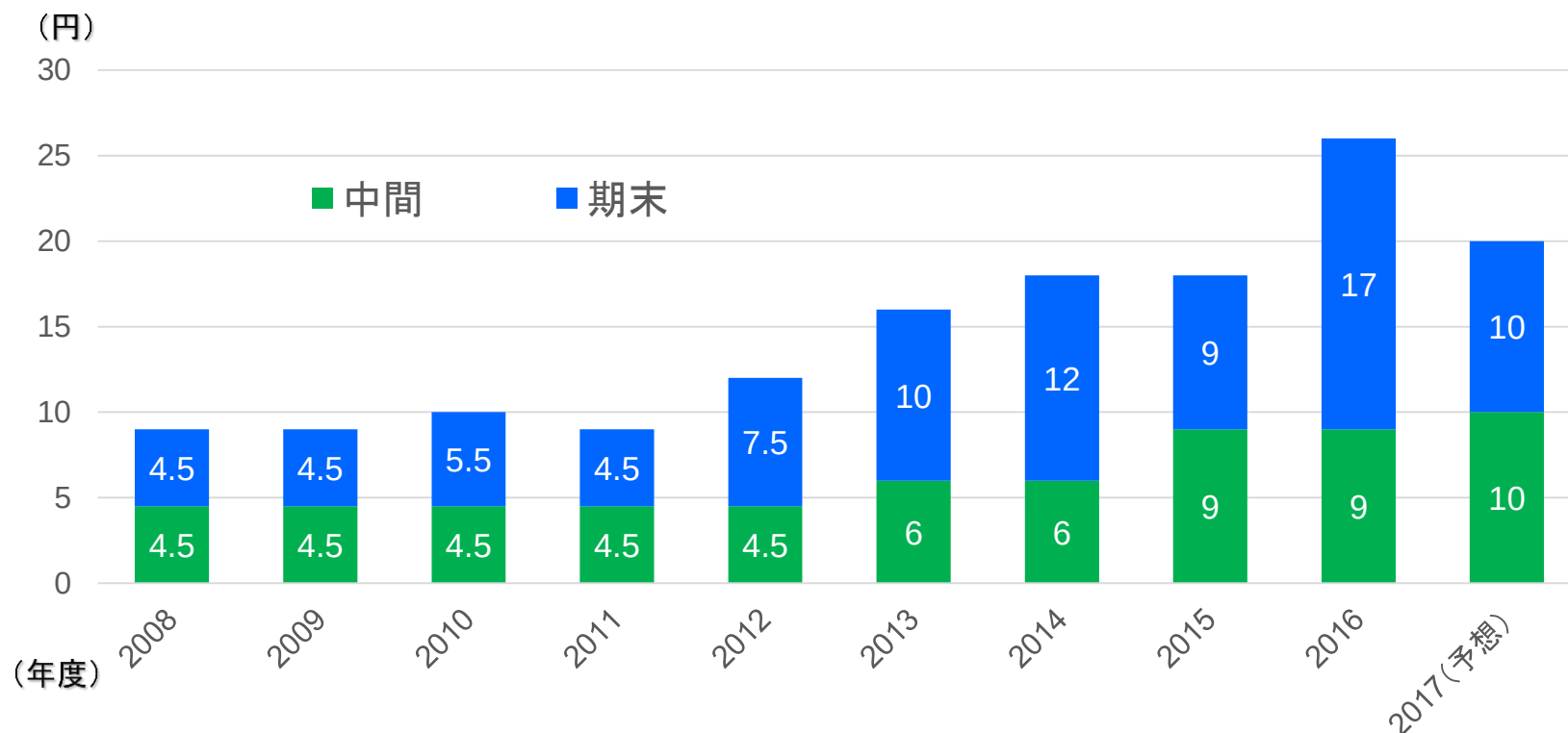
	17年度	16年度 (実績)	前期比	増減率
連結：営業費用	76,400	77,329	△929	△1.2%
個別：営業費用	59,800	61,644	△1,844	△3.0%
個別：テレビ番組費	17,400	17,853	△453	△2.5%

設備投資額と減価償却費

	17年度上期		16年度	
	連結	個別	連結	個別
設備投資額	26億円	10億円	39億円	26億円
減価償却費	15億円	11億円	28億円	22億円

(億円未満を四捨五入)

配当について



＜利益配分方針＞

当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題のひとつであると位置づけている。利益の配分については、今後の成長のために適切な投資を行う一方、放送事業者という責任ある立場を踏まえ財務体質の強化・維持を図るとともに、配当性向(連結)が30%を下回らず、かつ安定的、継続的な配当をめざすこととする。

番組・視聴率について

2017年4～9月 テレビ視聴率(関西地区)

(出典：ビデオリサーチ)(%)

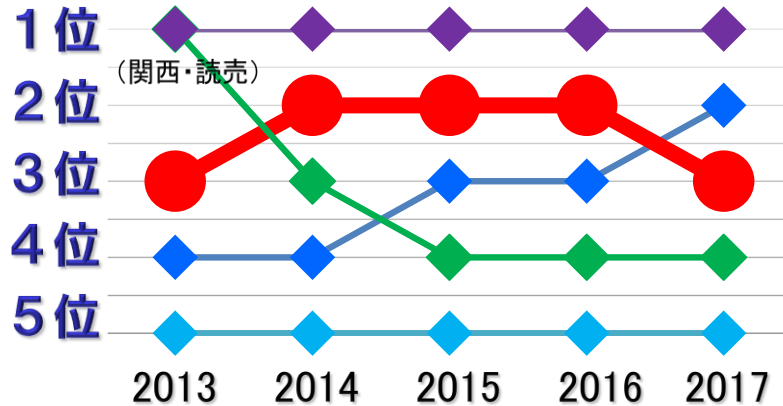
	全日 (6-24時)	ゴールデン (19-22時)	プライム (19-23時)	プライム2 (23-25時)
1	読売テレビ(日テレ系) 8.0	読売テレビ 12.0	読売テレビ 12.0	朝日放送 7.8(-0.1p)
2	毎日放送(TBS系) 7.4	毎日放送 10.6	朝日放送 10.8(-0.3p)	読売テレビ 7.5
3	朝日放送(テレ朝系) 7.3(前年同期比±0p)	朝日放送 10.3(-0.1p)	毎日放送 10.7	毎日放送 5.8
4	関西テレビ(フジTV系) 7.2	NHK 9.9	関西テレビ 9.7	関西テレビ 5.4
5	NHK 5.7	関西テレビ 9.8	NHK 8.7	NHK 2.6

関西地区のテレビ視聴率

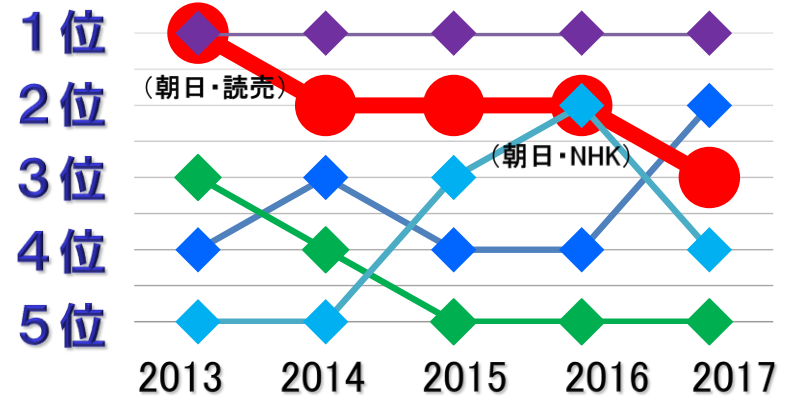
注: 2017年度は上期のみ

全日 (6時～24時)

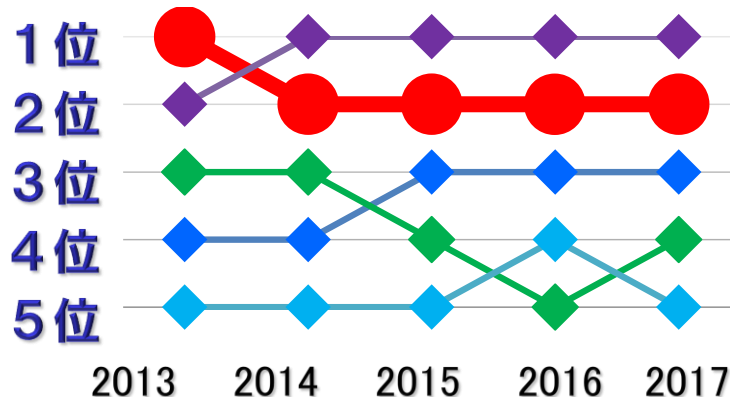
(出典: ビデオリサーチ)



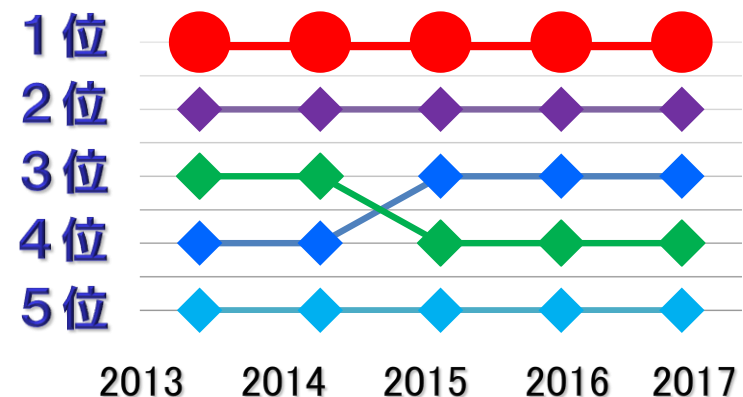
ゴールデン (19時～22時)



プライム (19時～23時)



プライム2 (23時～翌日1時)



● 朝日放送(テレ朝系)

◆ 毎日放送(TBS系)

◆ 関西テレビ(フジTV系)

◆ 読売テレビ(日テレ系)

◆ NHK

ゴールデン帯番組の立て直しと日曜の強化

①: ゴールデン帯の当社枠を1時間減らしたうえで、
番組企画を練り直して再チャレンジへ

⇒ ★全社で企画を募集 ★トライアル番組を放送

②: 日曜早朝に大型ニュース情報番組をスタート
(朝日放送・テレビ朝日・メ〜テレ(名古屋)の3社共同制作)

サンデー
LIVE!!

東山紀之さんを
メインキャスターに

年末年始のG帯は人気特別番組が続く



**M-1
グランプリ
2017**

前回**23.8%**
(関西地区)

12月3日(日)放送決定



**芸能人
格付け
チエツク**
2017 お正月スペシャル

前回**20.0%**
(関西地区)

元日恒例の高視聴率番組

コンテンツ総合力を強化

AbemaTVとドラマ共同制作：見逃し配信好調



【見逃し配信(朝日放送)】 約80万回

【広告再生回数(朝日放送)】 350万回超

(すでに終了の1～3話合計)

- ・見逃し配信においては、全ドラマ中3位になることも

「バーチャル高校野球」再生回数が大幅



- ・全49地方大会決勝含む300試合をライブ中継
 - ⇒動画再生回数は前年度比157.4%
 - ⇒動画CM再生回数は1億回突破(前年度比166.1%)
- ・アプリ 100万ダウンロード突破(前年比151.1%)

新規事業について



- ・プリキュアシリーズの二次利用・映画収入が増加
- ・「聲の形」の海外販売成立
- ・深夜アニメの二次利用も想定を上回る



©ABC-A・東映アニメーション



©大今良時・講談社/映画聲の形製作委員会



- ・国内ホテルチェーン客室へ番組販売（VOD）が成立
- ・ベトナム向け日本紹介番組⇒第3弾の制作スタート



- ・「ぱちんこ必殺仕事人V」が引き続き堅調
- ・カフェ事業：アーティストとのコラボイベントなどを展開



©松竹・ABC ©KYORAKU



- ・「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」の海外配信契約が既に成立
(来年1月放送予定の深夜アニメ)
- ・プリキュアの二次利用：引き続き好調



©2017 暁佳奈・京都アニメーション／ヴァイオレット・エヴァーガーデン製作委員会



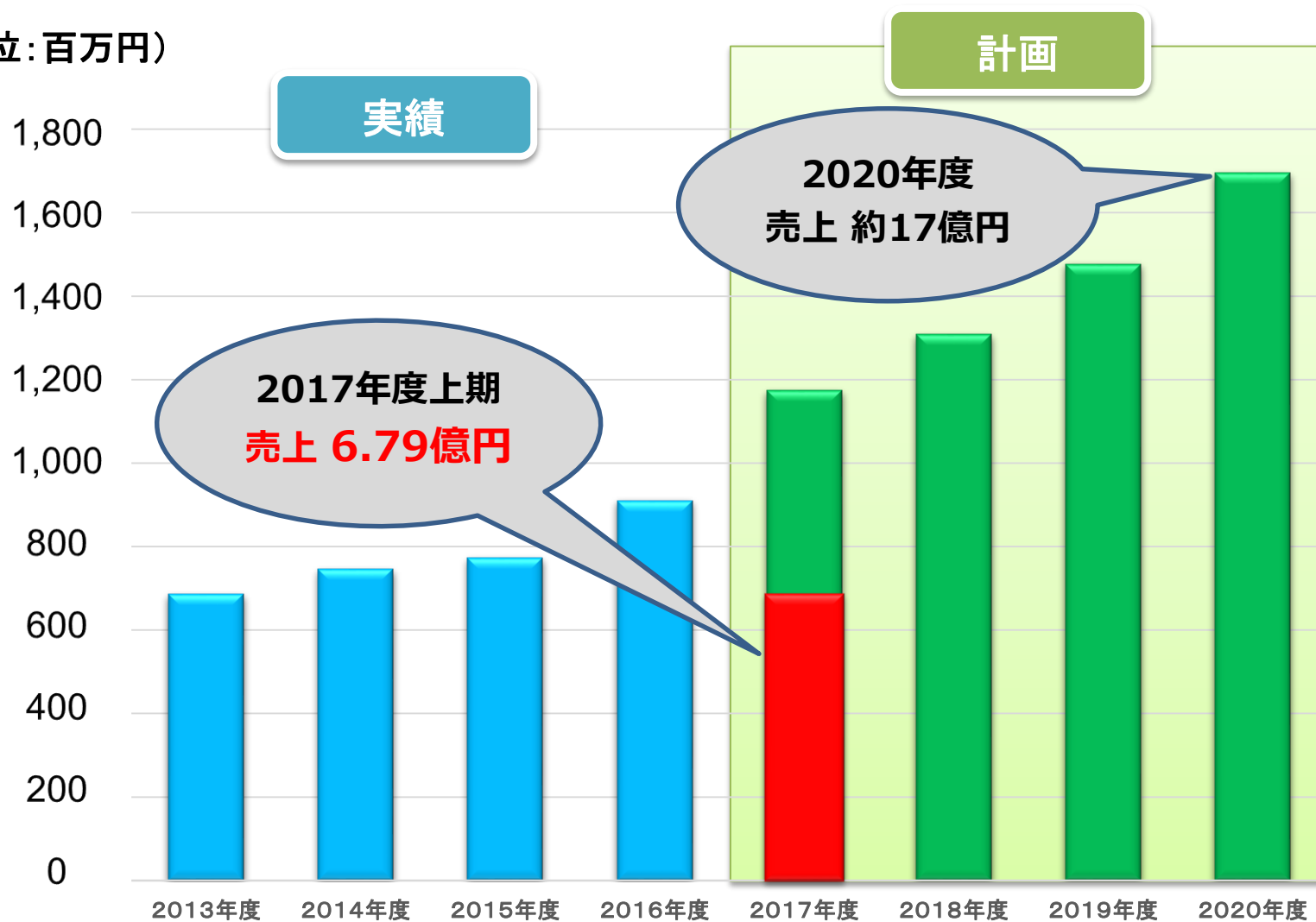
- ・香港、台湾を中心に番組販売が増える見込み
- ・映像によるインバウンド事業を推進



- ・人気ラジオ番組40周年記念書籍を発行予定



(単位:百万円)



(注:2016年度は7月～3月までの数値)



さらに2社へ投資

2015年度



CINEMA CRAFT

2016年度

Retty

Oh My Glasses
T O K Y O



trittrue

2017年度

PRTable



海外ビジネス拠点をシンガポールに設立



「ABC HORIZON PTE. LTD.」

2016年 4月：シンガポールに駐在員事務所設立

2016年12月：現地法人化

2017年 6月：開所式

《業務内容》

- ・マーケティングリサーチ
- ・オリジナルコンテンツ開発
- ・日本企業の海外進出サポート
- ・海外投資先の発掘
- ・海外企業の日本進出サポート



「MBC Studio」 設立に合意

2017年6月、ベトナムの映画製作・タレント養成会社

「MBC Corporation」との合併会社（資本金：300億VND）

（持株比率：MBC 66.67%、朝日放送 30%、

ABCフロンティアホールディングス 3.33%）

《業務内容》

- ・ベトナム国内向け映画製作、タレントマネジメント
- ・MBC関連の現地テレビ番組制作会社や映画館と連携して、コンテンツの多面的展開を目指す



マネジメントするタレント「P336」

中期経営計画について

中期経営計画(2015-2017)について

(単位:百万円)

連結	2015年度	2016年度	2017年度
	上段:実績 下段:(計画数値:修正前)	上段:実績 下段:(計画数値)	上段:見込み 下段:(計画数値)
売上高	81,059 (82,100)	82,302 (82,400)	80,500 (83,100)
営業利益	4,064 (4,400)	4,972 (4,100)	4,100 (4,400)
経常利益	4,407 (4,600)	5,261 (4,400)	4,300 (4,700)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,372 (2,800)	3,416 (2,700)	2,600 (2,900)
営業利益率	5.0% (5.4%)	6.0% (5.0%)	5.1% (5.3%)

(青字:達成(見込)、赤字:未達成(見込))

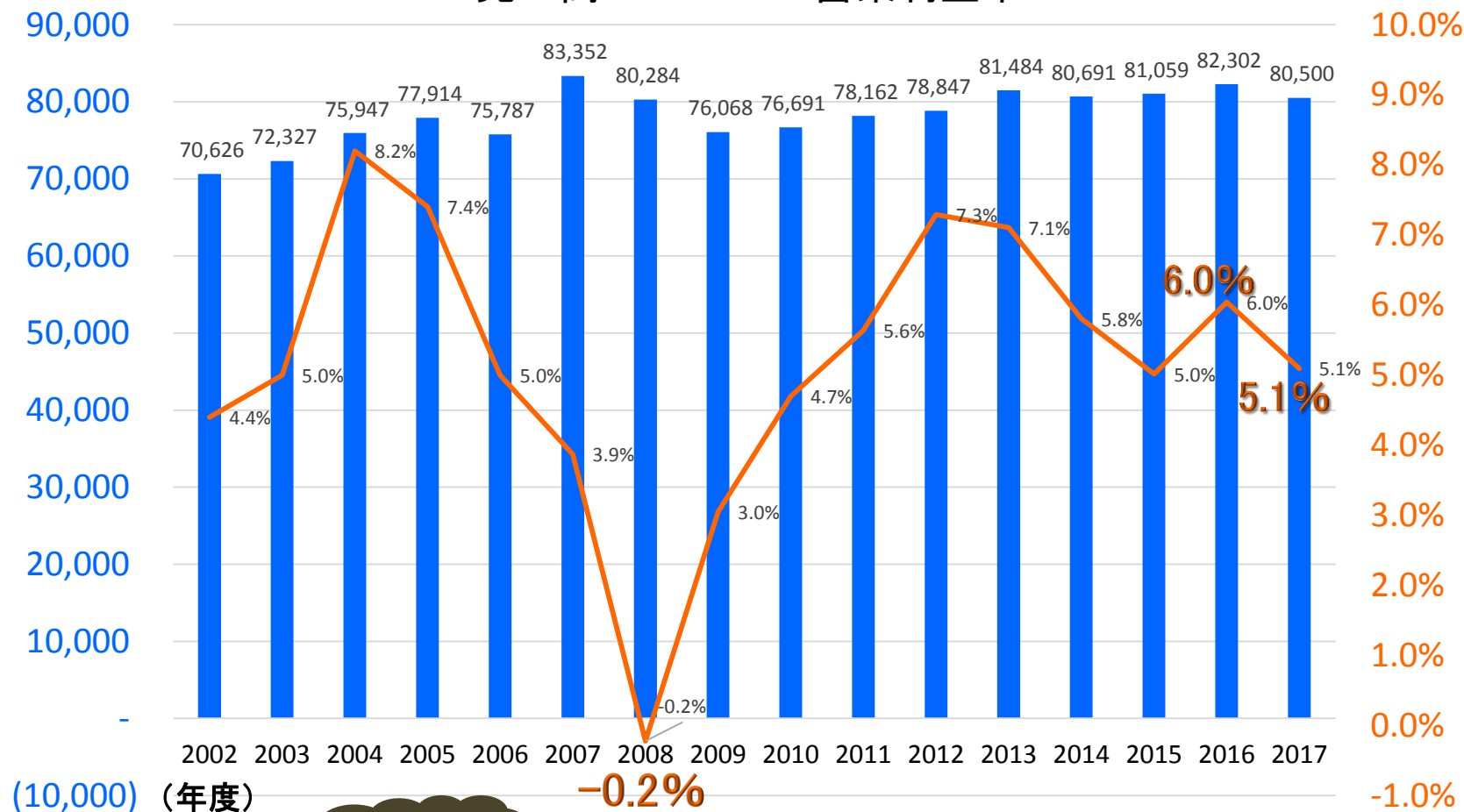
グループの売上高と利益率の推移(連結)

(連結売上高:百万円)

■売上高

—営業利益率

(営業利益率:連結)



リーマン
ショック

次期中期経営計画 来年2月発表



1: 放送事業



2: ハウジング事業



3: 新規事業を創出へ

- ・投資の専門部署を朝日放送グループHDに
新設し、M&Aなどの投資事業や新規事業開発へ
- ・数値目標などは来年2月に発表

參考資料

グループ会社一覧

連結対象



(株)エー・ビー・シーメディアコム
通信販売業務、ラジオ番組制作、音楽出版



(株)スカイ・エー
CS放送事業



エー・ビー・シー開発(株)
総合住宅展示場運営、HDC運営、
保険代理店業、広告代理店業



(株)エー・ビー・シーリブラ
TV番組企画・制作、映像の保存・管理



(株)ABCフロンティアホールディングス
(株)ABCアニメーション
(株)ABCインターナショナル
(株)ABCライツビジネス
の経営管理、ライセンス管理、新規事業開発



(株)ABCアニメーション
アニメコンテンツの企画・製作、
ビデオグラム販売、海外販売、物販など



(株)ABCインターナショナル
番組販売、フォーマット販売など
海外に関する収益事業



(株)ABCライツビジネス
パッケージ販売、物販事業、
ライセンス事業、キャラクター事業



(株)ABCゴルフ倶楽部
ゴルフ場運営



(株)デジアサ
デジタルコンテンツ制作、字幕制作



ABCドリームベンチャーズ(株)
コーポレート・ベンチャー・キャピタルの運営



ABC HORIZON PTE. LTD
(本社:シンガポール)
海外でのビジネス調査、
新規事業開発及びビジネスサポート



(株)アイネックス
制作技術、ポスト・プロダクション



(株)エー・ビー・シー興産
警備保安業務、施設管理業務

セグメント別 売上高(2016年度連結売上)

ハウジング事業

109億円



ゴルフ事業

ABCゴルフ倶楽部

8億円

放送事業

706億円



ABC LIBRA



連結売上高
823億円

テレビネットワーク

ABC

朝日放送

・本社:大阪 ・エリア:近畿2府4県

2,082万人 953万世帯

広島ホームテレビ(HOME)
山口朝日放送(yab)
九州朝日放送(KBC)
熊本朝日放送(KAB)
長崎文化放送(NCC)
鹿児島放送(KKB)
テレビ宮崎(UMK)
大分朝日放送(OAB)
愛媛朝日テレビ(eat)
瀬戸内海放送(KSB)

長野朝日放送(abn)
北陸朝日放送(HAB)
福井放送(FBC)
静岡朝日放送(SATV)
名古屋テレビ放送(メ〜テレ)
琉球朝日放送(QAB)

北海道テレビ放送(HTB)

秋田朝日放送(AAB)

新潟テレビ21(UX)

青森朝日放送(ABA)

岩手朝日放送(IAT)

山形テレビ(YTS)

東日本放送(KHB)

福島放送(KFB)

テレビ朝日
tv asahi

・本社:東京 ・エリア:関東1都6県

4,326万人 2,013万世帯
(総務省:住民基本台帳に基づく)

朝日放送が放送している主な番組



MI-1
グランプリ

「朝日放送」制作
全国ネット番組



探偵! ナイトスクープ
Knight scoop

「朝日放送」制作
ローカル番組

報道
STATION

Doctor-X

ドラえもん

MUSIC-STATION
SINCE 1986

徹子の部屋

「テレビ朝日」等
制作の番組

自社制作率: 34.0%

テレビ事業収入の種類と仕組み

	タイム 番組提供スポンサーを対象とするセールス 「この番組は〇〇の提供でお送りします」	スポット
期間	原則2クール(6ヵ月契約)	設定自由
単位	30秒から	15秒から
放送エリア	全国ネットもしくはローカル(各局エリア)	ローカル
予算	2クール(6ヵ月)固定料金	キャンペーンごと

(注1) 全国ネットのタイム収入について
全国ネット番組は1番組あたりの収入が多い一方で、「番組制作費」に加え、系列各局の電波を借りるための「電波料」が必要なため費用も高む。

(注2) スポットの収入について
放送時間の自由度が高いため、その時々のスポンサーのニーズに合わせるケースも多い。
スポットの価値は、視聴者数(HUT)×視聴率で割り出され、視聴率によって大きく変動する。
「利益」への貢献度が高い。

お問合せ先/本資料に関するご注意

本資料は、事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社への投資を推奨するものではありません。また、本資料には当社および当社の関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述がふくまれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況、その他の様々な要因により、上記将来に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

お問合せ先



朝日放送株式会社

総務局 総務部

電話番号: 06-6458-5321(代) ファックス: 06-6454-1111

会社情報サイト <http://corp.asahi.co.jp>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書など
株主・投資家の皆様のための更に詳しい情報をご覧いただけます。